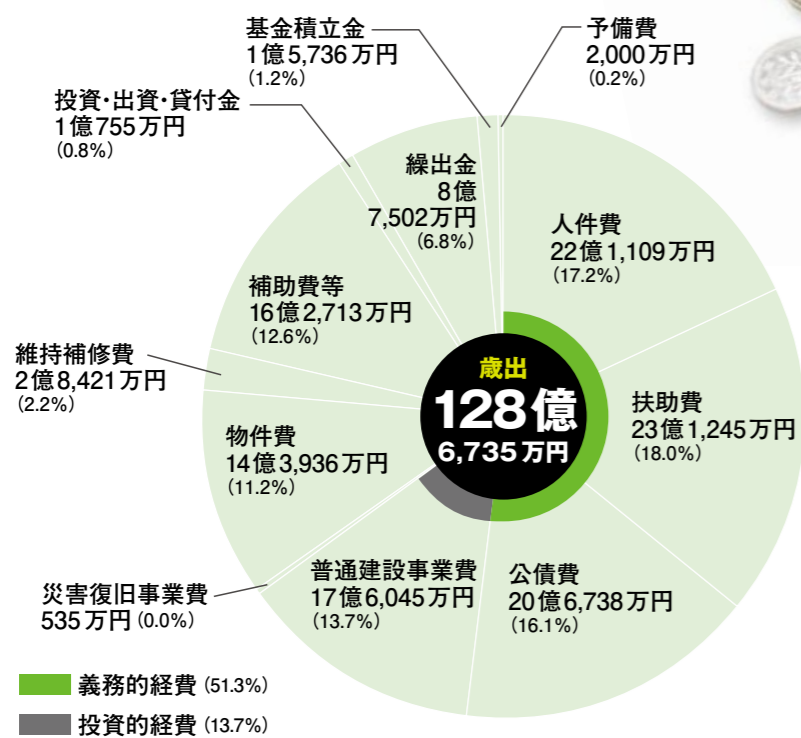
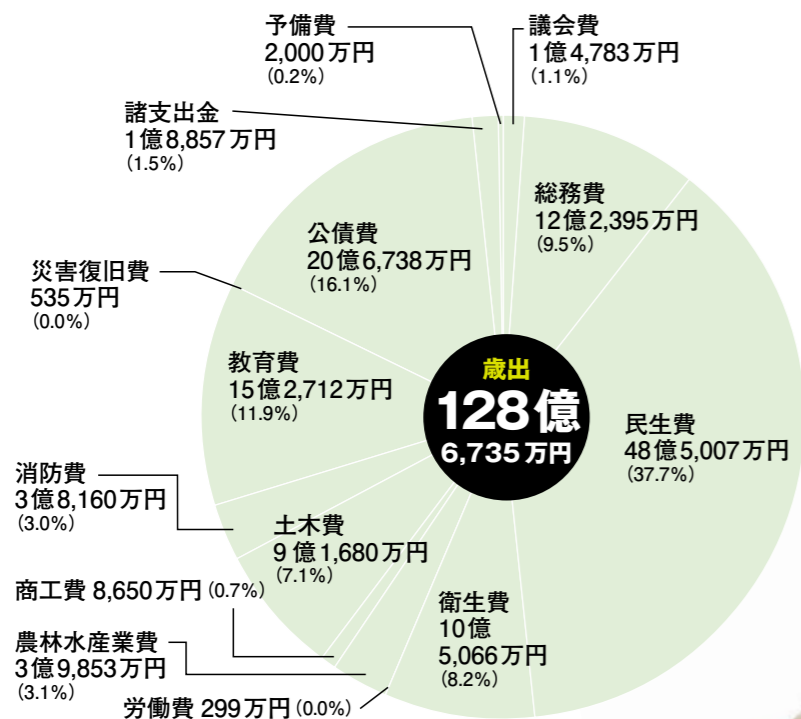


※金額が少額のため、「0%」表示になっているところがあります。



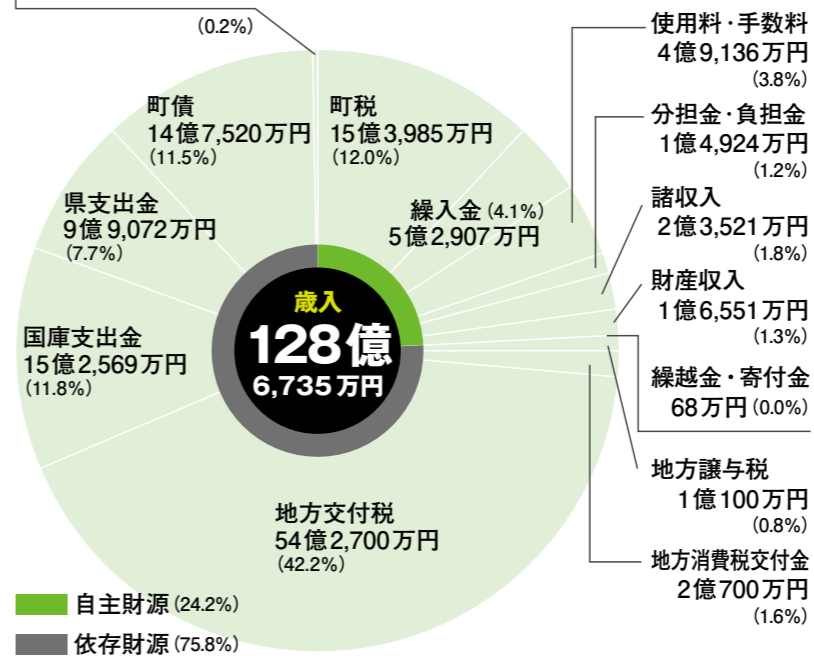
**歳出 5割を超す義務的経費が財政硬直化を示す**

▶ 「目的別」と「性質別」のグラフはともに一般会計の歳出を表すグラフです。目的別歳出では、行政サービスの水準や行政上の特色などを知ることができます。一方、性質別歳出は支出が義務付けられている人件費や扶助費、公債費の「義務的経費」と公共施設の建設など、行政水準の向上にかかる建設事業費の「投資的経費」に分けることができます。この歳出を前年度の当初予算と比較した場合、人件費が約1億円の減額、扶助費が約5,800万円の増額、さらに普通建設事業費が約7,700万円の増額です。その他の主な事業としては、「城山横穴群」の国指定史跡化に伴う文化財保護事業が約3億円計上されています。今後も事業の選択と集中を行い、計画的な経費削減を図りながら、より効率的で効果的な財政運営を着実に進めます。

支出を抑制しつつ、町民の期待と信頼に応えられるサービスを。町では、見直しを図った中期財政計画(5か年計画)を軸に、町政を運営し、具体的な数値目標を掲げながら、着実に財政健全化へと近づけていきます。

※金額が少額のため、「0%」表示になっているところがあります。

利子割交付金…360万円 配当割交付金…500万円  
自動車取得税交付金…1,400万円 地方特例交付金…210万円  
交通安全対策特別交付金…453万円 株式等譲渡所得割交付金 30万円  
ゴルフ場利用税交付金…28万円



**歳入 町の自主財源は全体のわずか24.2%**

▶ 本年度の一般会計の当初予算額(骨格予算)は113億693万円でしたが、政策的・投資的経費を含む補正(肉付け)予算額15億6,042万円を加えた128億6,735万円が通年予算となりました。歳入には様々な種類がありますが、大きく分類すると税収入など町の自主的な収入「自主財源」と、国や県およびその他機関等の意思決定に基づく収入「依存財源」に分けられ、この自主財源が多額なほど、行政サービス等行財政の安定性が確保されます。グラフが示すとおり、本町の自主財源は歳入全体の約24.2%と、前年度に比べ0.4%上昇しているものの、まだまだ大幅な増収とは言えません。このような厳しい財政状況の中、引き続き危機感を持ちながら限られた財源を有効活用して、活力あるまちづくりを行っていきます。

**【特別会計】**

特別会計	予算金額	
同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計	8,598万円	
国民健康保険特別会計	46億9,856万円	
後期高齢者医療特別会計	2億9,322万円	
国民健康保険福智町立診療所事業特別会計	8億8,796万円	
田川郡町村公平委員会特別会計	152万円	
水道事業会計	収益的収入	6億2,602万円
	収益的支出	8億4,752万円
	資本的収入	1億1,380万円
	資本的支出	2億7,042万円

町長選挙のため、骨格予算としてスタートした平成26年度の当初予算。6月定例議会で補正予算が可決され、本年度の通年予算が確定しました。予算総額は前年度より約1.2%増の128億6735万円。この財源がまちづくりにとってどう生かされるのか、その概要をお知らせします。

